

2019年度 第1四半期
(2020年3月期 第1四半期)

IR説明資料

2019年8月5日

不二製油グループ本社株式会社

目次

1	連結 損益概要(1Q : 3ヶ月実績)	…	3 ページ
2	連結 貸借対照表	…	4
3	連結 キャッシュ・フロー	…	4
4	連結 指標	…	5
5	2019年度通期業績予想	…	6
6	設備投資額・減価償却費の推移	…	7
7	配当の推移	…	7
8	売上高・営業利益（所在地別・事業別）1Q	…	8
	（参考）売上高・営業利益（所在地別・事業別）通期	…	9
9	中期戦略製品群別 販売数量推移(対前年同期比)	…	10
10	主要関連相場	…	11
11	中期経営計画	…	12
12	トピックス	…	12

※「IR説明資料について」

当資料は、短信補足資料（1～7）に、所在地別実績等の詳細データ（8～12）を追加し統合した資料です

◆ 1. 連結損益概要(1Q : 3ヶ月実績)

第1四半期 (3ヶ月実績)

(単位: 億円)

	18年度 1Q	19年度 1Q	前期比		
			増減額	増減率	
売上高	植物性油脂	271	246	▲25	▲9.1%
	業務用チョコレート	195	408	+213	+109.5%
	乳化・発酵素材	210	206	▲3	▲1.5%
	大豆加工素材	89	89	▲0	▲0.3%
	合計	764	949	+185	+24.2%
営業利益	植物性油脂	16	19	+3	+21.0%
	業務用チョコレート	32	10	▲22	▲68.7%
	乳化・発酵素材	10	9	▲1	▲10.0%
	大豆加工素材	9	10	+1	+16.7%
	連結調整・ グループ管理費用	▲8	▲8	▲0	▲1.7%
合計	58	40	▲18	▲31.7%	
営業利益率	7.6%	4.2%	▲3.4pt	-	
経常利益	57	35	▲23	▲39.3%	
親会社株主に帰属する四半期純利益	35	32	▲3	▲7.8%	
EBITDA	84	80	▲5	▲5.4%	
ROE	8.8%	8.2%	▲0.6pt	-	
営業キャッシュフロー	57	19	▲38	▲67.2%	
投資キャッシュフロー	▲46	▲42	+3	+7.2%	
フリーキャッシュフロー	11	▲24	▲35	-	
NET有利子負債	445	1,452	+1,007	+226.2%	
NET運転資本	617	726	+110	+17.8%	
NET有利子負債/EBITDA	1.3倍	4.6倍	+3.3倍	-	
CCC(キャッシュコンバージョンサイクル)	103日	123日	+20日	-	

※欧州事業は、植物性油脂事業と業務用チョコレート事業に分割。18年度は遡及修正済み。

■ 営業利益

<ポイント>

植物性油脂事業、大豆加工素材事業で増益も、業務用チョコレート事業での、米州の減益により、連結営業利益は前年同期比▲31.7%の減益となったが、計画内での着地となった。

<セグメント別>

植物性油脂

チョコレート用油脂の販売が減少したものの、米州の寒波影響による反動、欧州の原材料の採算改善により増益。

業務用チョコレート

日本でのアイス用チョコレート等の減少に加え、ブラジルでの販売減、Blommerでの先物評価益の振り戻しにより減益。

乳化・発酵素材

日本でのクリーム等の堅調な販売はあったものの、前期のたな卸未実現利益の剥落により減益。

大豆加工素材

大豆たん白素材、大豆たん白食品の販売が堅調に推移し増益。

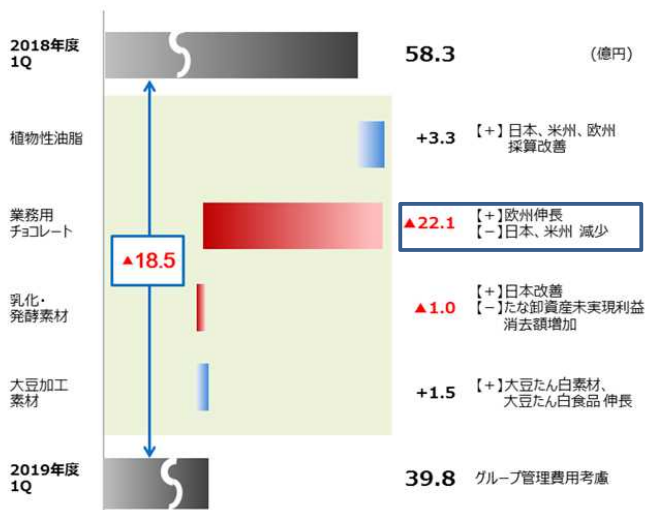
■ 四半期純利益

固定資産売却益の計上及び、18年度の大阪北部地震の影響の剥落も、減益。

■ CCC

Blommer新規連結により長期化。Blommer除けば107日。

2019年度第1四半期 営業利益増減分析



営業利益	FY18 Q1	FY19 Q1	増減益	要因分析
業務用チョコレート	32.2	10.1	▲22.1	
日本	15.0	13.6	▲1.5	アイス用チョコレート等減少
米州			▲21.5	
・ハラルド、Blommer			▲12.0	Blommerは、高付加価値品の伸長や採算性の改善により、計画から超過。また、のれん▲7億円を計上。ハラルドは、前年好調だったイースター商戦の反動、数量減により採算性低下も、概ね計画どおりに進行。
・Blommer先物評価益振り戻し			▲9.5	想定線での振り戻し額を計上
東南アジア	2.2	2.0	▲0.2	
中国	0.2	0.4	0.2	
欧州	0.1	1.0	0.9	販売堅調
連結調整	0.1	0.1	▲0.1	

◆2. 連結 貸借対照表

(単位：億円)

	18年度 期末	19年度 1Q末	前期末比	主な増減要因
流動資産	1,854	1,801	▲53	現預金の減少
固定資産	1,980	2,002	+22	使用権資産の増加
繰延資産	-	3	+3	社債発行費計上
資産合計	3,834	3,806	▲28	
有利子負債	1,605	1,608	+3	劣後債、長期借入金の増加、 短期借入金の減少
其他負債	637	592	▲45	買掛金、未払金の減少、 リース負債の増加
負債合計	2,242	2,200	▲42	
純資産合計	1,592	1,606	+14	利益の増加、配当金支払による減少

◆3. 連結 キャッシュ・フロー

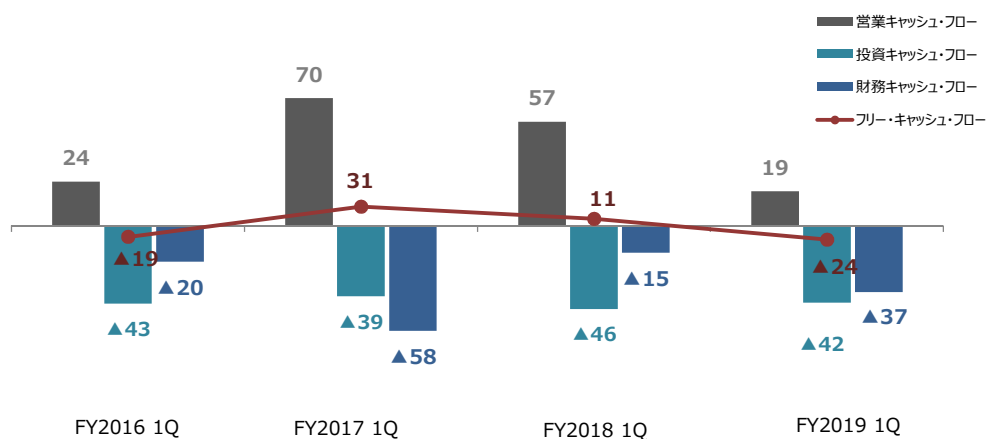
(単位：億円)

	18年度 1Q	19年度 1Q	前年同期比	主な増減要因
税金等調整前四半期純利益	52	43	▲8	
減価償却費	27	32	+5	
のれん償却費	2	9	+7	
他増減	▲23	▲66	▲43	
営業キャッシュ・フロー	57	19	▲38	
投資キャッシュ・フロー	▲46	▲42	+3	
フリー・キャッシュ・フロー	11	▲24	▲35	
借入金等による調達・返済	7	▲13	▲19	
配当金支払等その他	▲22	▲24	▲2	
財務キャッシュ・フロー	▲15	▲37	▲22	
現金及び現金同等物増減額	▲8	▲58	▲49	
現金及び現金同等物残高	122	156	+34	

(注)・減価償却費には、有形固定資産及び無形固定資産等の償却費を含めています。

キャッシュ・フロー (1Q)

(単位：億円)



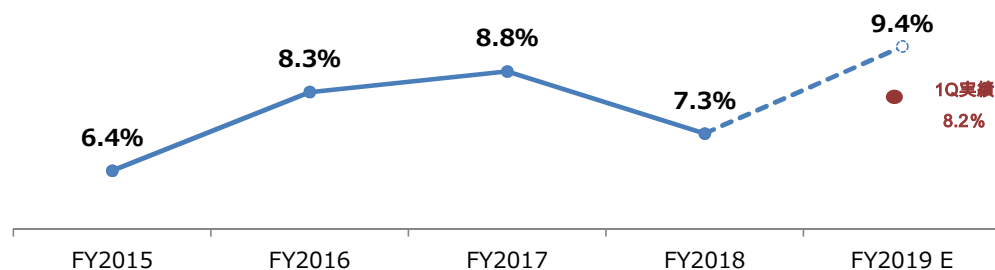
◆4. 連結 指標

(単位：億円)

	17年度 実績	18年度 1Q実績	18年度 実績	19年度 1Q実績	19年度 予想
EBITDA	310	84	300	80	392
設備投資額	147	41	159	29	220
減価償却費	100	25	110	29	107
有利子負債	566	567	1,605	1,608	1,535
NET有利子負債	436	445	1,392	1,452	1,366
NET運転資本	633	617	171	726	745
NET有利子負債/EBITDA	1.4	1.3	4.6	4.6	3.5
1株当たり純資産	1,864円	1,841円	1,820円	1,835円	1,954円
自己資本比率	59.2%	59.0%	40.8%	41.4%	42.7%
D/エレシオ	0.35	0.36	1.03	1.02	0.91
Net D/エレシオ	0.28	0.28	0.87	0.90	0.80
営業キャッシュフロー	282	57	226	19	320
フリーキャッシュフロー	137	11	▲565	▲24	101
ROE	8.8%	8.8%	7.3%	8.2%	9.4%
ROA	7.4%	8.5%	5.5%	3.6%	5.7%
売上高営業利益率	6.7%	7.6%	6.2%	4.2%	5.6%
CCC	103日	103日	※ 105日	123日	105日

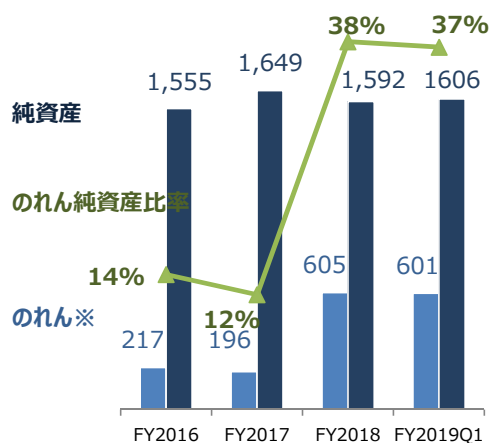
- (注) ・減価償却費は、有形固定資産の減価償却費を表示しています。
 ・純資産は非支配株主持分を除いた普通株式に係る純資産額を表示しています。
 ・D/エレシオ = 有利子負債 ÷ 自己資本
 ・Net D/エレシオ = Net有利子負債 (有利子負債 - 現預金) ÷ 株主資本
 ・ROE = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 自己資本 (期首と期末の平均値)
 ・ROA = 経常利益 ÷ 総資産 (期首と期末の平均値)
 ※2018年度のCCCはBlommerを除く既存事業

ROE

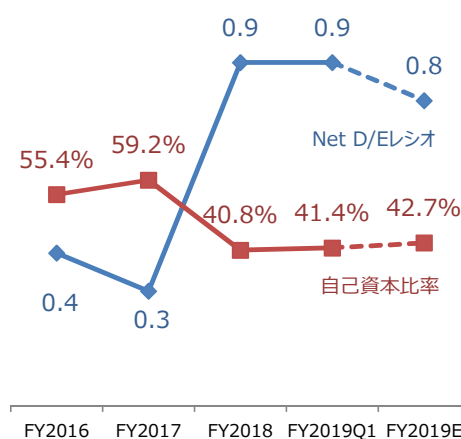


のれん純資産比率

(単位：億円)



Net D/エレシオ 自己資本比率



※のれんは広義ののれんを使用

◆5. 2019年度通期業績予想

2019年度通期 業績予想

(単位：億円)

		18年度 実績	19年度 予想	前期比	
				増減額	増減率
売上高	植物性油脂	1,097	1,139	+42	+3.9%
	業務用チョコレート	686	1,874	+1,188	+173.3%
	乳化・発酵素材	865	915	+50	+5.8%
	大豆加工素材	361	372	+11	+3.0%
	合計	3,008	4,300	+1,292	+42.9%
営業利益	植物性油脂	81	91	+9	+11.5%
	業務用チョコレート	74	103	+29	+38.5%
	乳化・発酵素材	33	43	+10	+29.5%
	大豆加工素材	33	41	+8	+25.6%
	連結調整・ グループ管理費用	▲37	▲38	▲1	▲3.9%
	合計	185	240	+55	+29.5%
営業利益率	6.2%	5.6%	▲0.6pt	-	
経常利益	182	220	+38	+21.0%	
親会社株主に帰属する当期純利益	116	152	+36	+31.2%	

■営業利益

<ポイント>

主に次の要因により増益を計画。

- ・植物性油脂事業：アジアや米州の回復を見込む
- ・業務用チョコレート事業：Blommer買収費用の減少と新規連結寄与
- ・日本での減価償却方法の変更（定率法→定額法、+8億円）
- ・日本での業務用チョコレート事業の伸長
- ・大豆加工素材事業での大豆たん白食品の改善等

<セグメント別>

植物性油脂

日本、欧州では、原料改善効果の一巡を見込むものの、東南アジアではチョコレート用油脂を中心に販売拡大、北米での寒波・ハリケーンの影響がなくなることやチョコレート用油脂の販売伸長などにより、全体で増益計画。

業務用チョコレート

Blommer買収費用の減少、また、Blommerの新規連結により増益を計画。地域別では、日本でのカラーチョコレートの伸長、アジアや中国の伸長を計画。

乳化・発酵素材

日本では販売先の拡大や顧客ニーズに応じた製品の開発による伸長に加え、中国では新工場の通期寄与などにより増益を計画。

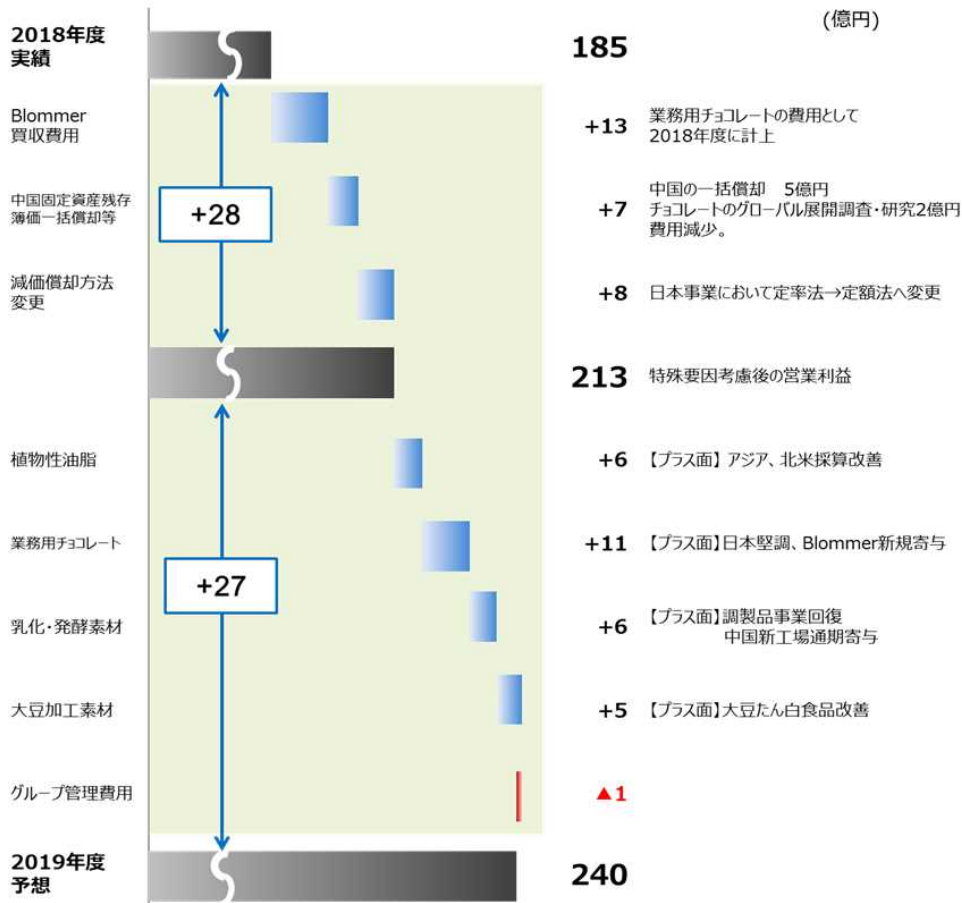
大豆加工素材

大豆たん白食品の販売回復、水溶性大豆多糖類等の機能剤の販売伸長などにより増益を計画。

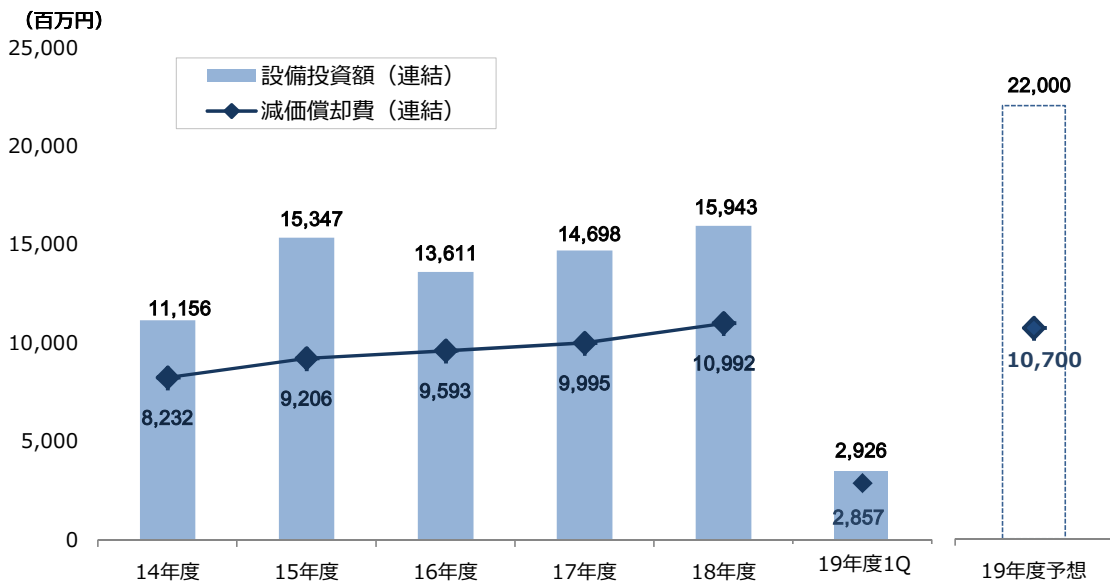
※19年度にセグメント変更を実施。製菓・製パン素材部門を、業務用チョコレート部門と乳化・発酵素材部門に変更。

また、セグメント名を油脂部門を植物性油脂部門、大豆部門を大豆加工素材部門にそれぞれ変更。18年度は遡及修正済み。

2019年度営業利益増減分析



◆6.設備投資額・減価償却費の推移



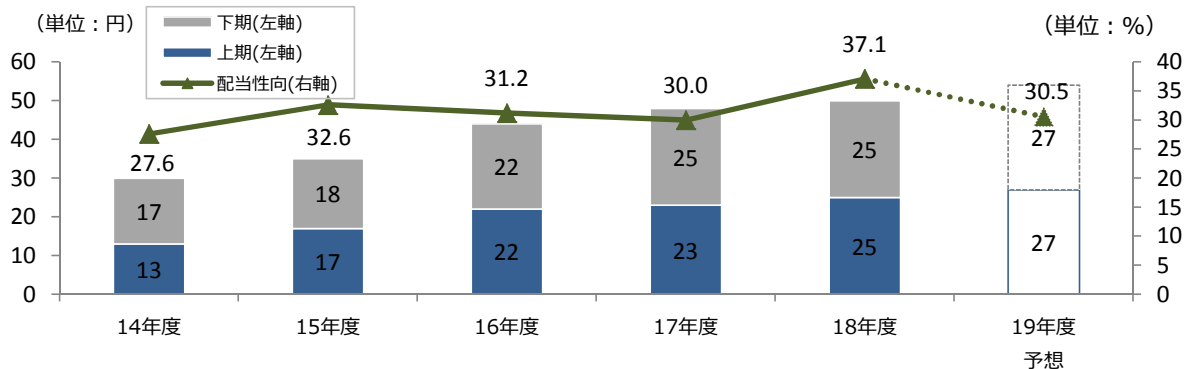
2019年度1Q実績

設備投資	29億円
＜主な投資内容＞	
・日本 粒状大豆たん白工場	0.9億円
・北米 油脂 新拠点設立	5億円
・Blommer 設備投資	2億円
減価償却	29億円

2019年度計画

設備投資	220億円
＜主な投資内容＞	
・北米 油脂 新拠点設立	51億円
・Blommer 設備投資	13億円
減価償却	107億円

◆7.配当の推移



単位：円

	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度 予想
上期	12	12	13	13	17	22	23	25	27
下期	12	13	13	17	18	22	25	25	27
配当性向	24.9%	25.8%	27.4%	27.6%	32.6%	31.2%	30.0%	37.1%	30.5%
合計	24	25	26	30	35	44	48	50	54

◆8. 売上高・営業利益（所在地別・事業別）1Q

売上高

(単位：百万円)

	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結計	
		実績	前期比	実績	前期比	実績	対前年	実績	対前年	実績	前期比	実績	前期比
植物性油脂	2019 1Q	8,387	▲818	6,956	▲244	4,617	▲121	597	▲214	4,046	▲1,072	24,606	▲2,467
	2018 1Q	9,205		7,200		4,738		811		5,118		27,073	
業務用 チョコレート	2019 1Q	8,495	▲468	28,115	21,221	2,628	511	662	▲68	866	115	40,769	21,311
	2018 1Q	8,963		6,894		2,117		730		751		19,458	
乳化・発酵 素材	2019 1Q	14,785	▲733			3,012	285	2,841	133			20,639	▲315
	2018 1Q	15,518				2,727		2,708				20,954	
大豆加工 素材	2019 1Q	8,278	63					637	▲94			8,916	▲31
	2018 1Q	8,215						731				8,947	
売上高計	2019 1Q	39,947	▲1,956	35,072	20,978	10,258	675	4,740	▲243	4,912	▲958	94,930	18,496
	2018 1Q	41,903		14,094		9,583		4,983		5,870		76,434	

(注) 上記売上高は、外部顧客への売上高（内部取引は消去後の売上高）

19年度1Qより、欧州を「植物性油脂」と「業務用チョコレート」に分けて表示。（従来は植物性油脂セグメントにチョコレートを含んで表示）18年1Q実績も遡及修正済み。

営業利益

(単位：百万円)

	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結調整		グループ管理費用		連結計	
		実績	前期比	実績	前期比	実績	対前年	実績	対前年	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
植物性油脂	2019 1Q	812	73	479	157	323	0	63	▲30	416	350	▲179	▲218			1,916	332
	2018 1Q	739		322		323		93		66		39				1,584	
業務用 チョコレート	2019 1Q	1,356	▲147	▲703	▲2,151	199	▲22	43	22	103	91	7	▲5			1,006	▲2,213
	2018 1Q	1,503		1,448		221		21		12		12				3,219	
乳化・発酵 素材	2019 1Q	624	270			162	108	206	▲13			▲116	▲462			877	▲97
	2018 1Q	354				54		219				346				974	
大豆加工 素材	2019 1Q	921	100					92	91			14	▲43			1,027	147
	2018 1Q	821						1				57				880	
連結調整	2019 1Q	28	▲28	9	2	▲11	▲14					2	68				
	2018 1Q	56		7		3						▲66					
グループ 管理費用	2019 1Q													▲846	▲13	▲846	▲13
	2018 1Q													▲833		▲833	
営業利益計	2019 1Q	3,743	270	▲214	▲1,991	673	72	377	41	519	440	▲272	▲662	▲846	▲13	3,981	▲1,845
	2018 1Q	3,473		1,777		601		336		79		390		▲833		5,826	

(注) 19年度1Qより、欧州を「植物性油脂」と「業務用チョコレート」に分けて表示。（従来は植物性油脂セグメントにチョコレートを含んで表示）18年1Q実績も遡及修正済み。

ポイント

事業セグメント	エリア	2019年度1Q
植物性油脂	日本	採算重視の販売の継続により増益。
	米州	昨年の寒波の影響の反動により増益。
	東南アジア	チョコレート用油脂は数量が減少したものの、コモディティ油脂の採算改善により前期並みを確保。
	中国	チョコレート用油脂の販売数量減少により減益。
	欧州	原材料の採算改善により増益。
業務用 チョコレート	日本	アイス用チョコレート等の減少により減益。
	米州	Blommerは数量伸長したが、先物評価益の振り戻しに加え、ブラジルでの販売数量の減少により大幅減益となった。
	東南アジア	既存事業が堅調に推移するも、のれん償却の計上などにより減益。
	中国	採算改善により増益。
	欧州	販売が堅調に推移し増益。
乳化・発酵素材	日本	デザート向けクリームの伸長などにより増益。
	東南アジア	調製品事業の採算改善により増益。
	中国	フィリングが増加したが、マーガリン・ショートニングが減少し減益。
	連結調整	前期のたな卸未実現利益の消却額増加により減益。
大豆加工素材	日本	大豆たん白素材が堅調に推移したことに加え、採算改善、また、大豆たん白食品の販売の回復により増益。
	中国	大豆たん白食品などの販売伸長により増益。

◆ (参考) 売上高・営業利益 (所在地別・事業別) 通期

売上高

(単位: 百万円)

	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結計	
		実績	前期比	実績	前期比	実績	対前年	実績	対前年	実績	前期比	実績	前期比
植物性油脂	2019 予想	36,900	118	29,700	918	20,400	2,607	3,400	507	23,500	78	113,900	4,225
	2018	36,782	▲502	28,782	▲2,392	17,793	194	2,893	▲653	23,422	▲552	109,675	▲3,903
	2017	37,284		31,174		17,599		3,546		23,974		113,578	
業務用 チョコレート	2019 予想	39,400	840	133,400	116,153	11,600	1,738	3,000	104			187,400	118,834
	2018	38,560	1,100	17,247	▲2,374	9,862	728	2,896	554			68,566	9
	2017	37,460		19,621		9,134		2,342				68,557	
乳化・発酵 素材	2019 予想	64,000	1,513			13,400	2,034	14,100	1,461			91,500	5,008
	2018	62,487	▲3,544			11,366	418	12,639	2,113			86,492	▲1,013
	2017	66,031				10,948		10,526				87,505	
大豆加工 素材	2019 予想	34,500	1,371					2,700	▲281			37,200	1,090
	2018	33,129	▲1,861					2,981	▲33			36,110	▲1,894
	2017	34,990						3,014				38,004	
売上高計	2019 予想	174,800	3,841	163,100	117,070	45,400	6,378	23,200	1,790	23,500	78	430,000	129,156
	2018	170,959	▲4,805	46,030	▲4,765	39,022	1,341	21,410	1,981	23,422	▲552	300,844	▲6,801
	2017	175,764		50,795		37,681		19,429		23,974		307,645	

(注) 上記売上高は、外部顧客への売上高 (内部取引は消去後の売上高)

営業利益

(単位: 百万円)

	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結調整		グループ管理費用		連結計	
		実績	前期比	実績	前期比	実績	対前年	実績	対前年	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
植物性油脂	2019 予想	3,662	▲322	2,210	457	1,498	569	419	113	1,294	129	1	▲8			9,084	936
	2018	3,984	1,199	1,753	▲545	929	▲284	306	▲186	1,165	735	9	▲58			8,148	860
	2017	2,785		2,298		1,213		492		430		67				7,288	
業務用 チョコレート	2019 予想	6,687	241	2,351	991	1,141	180	74	102			43	1,349			10,296	2,864
	2018	6,446	302	1,360	▲43	961	175	▲28	▲136			▲1,306	▲1,347			7,432	▲1,051
	2017	6,144		1,403		786		108				41				8,483	
乳化・発酵 素材	2019 予想	2,363	533			868	670	1,117	126			▲49	▲349			4,300	980
	2018	1,830	▲792			198	▲1,056	991	408			300	285			3,320	▲1,152
	2017	2,622				1,254		583				15				4,472	
大豆加工 素材	2019 予想	3,433	785					559	▲25			138	82			4,130	841
	2018	2,648	▲522					584	279			56	▲14			3,289	▲257
	2017	3,170						305				70				3,546	
連結調整	2019 予想	232	1,420	0	9	15	60	▲29	▲29			▲218	▲1,461				
	2018	▲1,188	▲1,436	▲9	▲16	▲45	▲38					1,243	1,491				
	2017	248		7		▲7						▲248					
グループ 管理費用	2019 予想													▲3,809	▲144	▲3,809	▲144
	2018													▲3,665	▲357	▲3,665	▲357
	2017													▲3,308		▲3,308	
営業利益計	2019 予想	16,377	2,655	4,561	1,458	3,523	1,479	2,140	287	1,294	129	▲85	▲386	▲3,809	▲144	24,000	5,475
	2018	13,722	▲1,249	3,103	▲606	2,044	▲1,202	1,853	366	1,165	735	301	356	▲3,665	▲357	18,525	▲1,956
	2017	14,971		3,709		3,246		1,487		430		▲55		▲3,308		20,481	

※欧州は植物性油脂と業務用チョコレートへの分割前の数字

ポイント

- ・2018年度より、グループ本社および一部エリア統括会社で計上するグループ管理費用を、外出して表示するよう変更している。各期は遡及修正済み。
- ・セグメント変更と名称変更を実施。製菓・製パン素材を業務用チョコレート、乳化・発酵素材に変更、油脂を植物性油脂、大豆を大豆加工素材に変更。
- ・所在地別セグメント アジアを、東南アジアと中国に分割。

	18年度	19年度
植物性油脂	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 原材料の安定した推移に加え、採算を重視した販売の継続により増益。 ・米州 天候等の特殊要因を主因に減益。 ・東南アジア コモデティ油脂等の原材料の採算悪化などにより減益。 	<ul style="list-style-type: none"> ・採算重視の販売継続するも減益の計画。 ・チョコレート用油脂などの販売伸長を見込み増益計画。 ・チョコレート用油脂などの販売伸長を見込み増益計画。
業務用 チョコレート	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 お土産向けやカラーチョコレート等が堅調に推移。 ・米州 採算重視の販売を実施もリアル安などにより減益。 ・東南アジア 中国 東南アジアは堅調に推移したことにより増益。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーチョコレートのライン増設寄与などにより増益計画。 ・Blommerの新規連結寄与により増益計画。 ・IFS(オーストラリアのチョコレート製造会社)の連結、中国での拡販を図る計画。
乳化・発酵素材	中国新工場稼働による伸長も、日本での販売減少により減益。	日本での新市場での拡販に加え、中国新工場通期寄与により増益計画。
大豆加工素材	大豆たん白食品の工場修繕等に伴う販売減少などにより減益。	大豆たん白食品の販売回復などにより、増益計画。

◆9. 中期戦略製品群別 販売数量推移(対前年同期比)

(対前年同期比%)

セグメント	製品群		2017						2017 (年間)	2018						2018 (年間)	2019 1Q	2019 (年間予想)
			1Q	2Q	(上期)	3Q	4Q	(下期)		1Q	2Q	(上期)	3Q	4Q	(下期)			
植物性油脂	チョコレート用油脂 (CBE、CBR、CBS)	日本	105%	90%	97%	102%	100%	101%	99%	96%	98%	97%	96%	96%	96%	97%	97%	100%
		米州	89%	89%	89%	76%	88%	82%	85%	104%	103%	104%	109%	93%	101%	102%	98%	119%
		東南アジア	92%	98%	95%	133%	111%	122%	108%	112%	102%	107%	80%	98%	88%	97%	98%	102%
		中国	106%	97%	102%	128%	116%	122%	114%	83%	103%	90%	96%	87%	91%	91%	73%	103%
		欧州	113%	91%	102%	100%	105%	102%	102%	92%	105%	98%	90%	90%	90%	93%	84%	98%
		合計	96%	93%	95%	105%	102%	104%	99%	103%	102%	103%	91%	95%	93%	97%	94%	105%
業務用 チョコレート	チョコレート	日本	99%	101%	100%	99%	107%	103%	102%	102%	91%	96%	99%	90%	95%	96%	93%	103%
		米州	100%	72%	89%	91%	89%	90%	89%	93%	92%	92%	102%	135%	110%	101%	87%	106%
		東南アジア	128%	121%	124%	147%	107%	123%	124%	104%	98%	101%	101%	107%	104%	103%	120%	127%
		中国	88%	100%	95%	95%	85%	89%	92%	141%	114%	127%	114%	121%	118%	122%	99%	106%
		欧州	114%	106%	110%	104%	101%	102%	105%	122%	131%	127%	91%	117%	105%	123%	123%	105%
		合計	104%	95%	100%	103%	99%	101%	101%	100%	96%	98%	105%	110%	107%	103%	102%	110%
		Blommer (参考)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	107%
乳化・発酵 素材	クリーム	日本	93%	105%	98%	110%	110%	110%	104%	104%	101%	102%	94%	99%	96%	99%	107%	103%
		東南アジア	95%	117%	107%	131%	137%	134%	120%	132%	103%	115%	99%	106%	103%	109%	129%	116%
	マーガリン・ ショートニング	日本	100%	94%	97%	98%	100%	99%	98%	96%	98%	97%	96%	92%	94%	96%	84%	94%
		中国	112%	114%	113%	116%	104%	110%	110%	95%	99%	97%	92%	122%	106%	103%	94%	145%
	フィリング	中国	160%	159%	160%	178%	145%	159%	160%	161%	132%	145%	139%	141%	140%	142%	115%	116%
大豆 加工素材	大豆たん白素材	日本	105%	106%	105%	100%	100%	100%	103%	104%	104%	104%	105%	102%	104%	104%	101%	103%
	大豆たん白食品	日本	94%	99%	97%	84%	81%	83%	89%	83%	84%	83%	103%	105%	104%	93%	108%	106%
	機能剤	日本	106%	111%	108%	96%	99%	98%	103%	96%	107%	102%	91%	107%	99%	101%	96%	113%

※1：Blommerの数量は除いて算出 ※2：BlommerのP/L連結は2019年1Qから開始、参考値として連結前の同月期の販売数量実績対比の指数を掲載

2019年度1Q ポイント

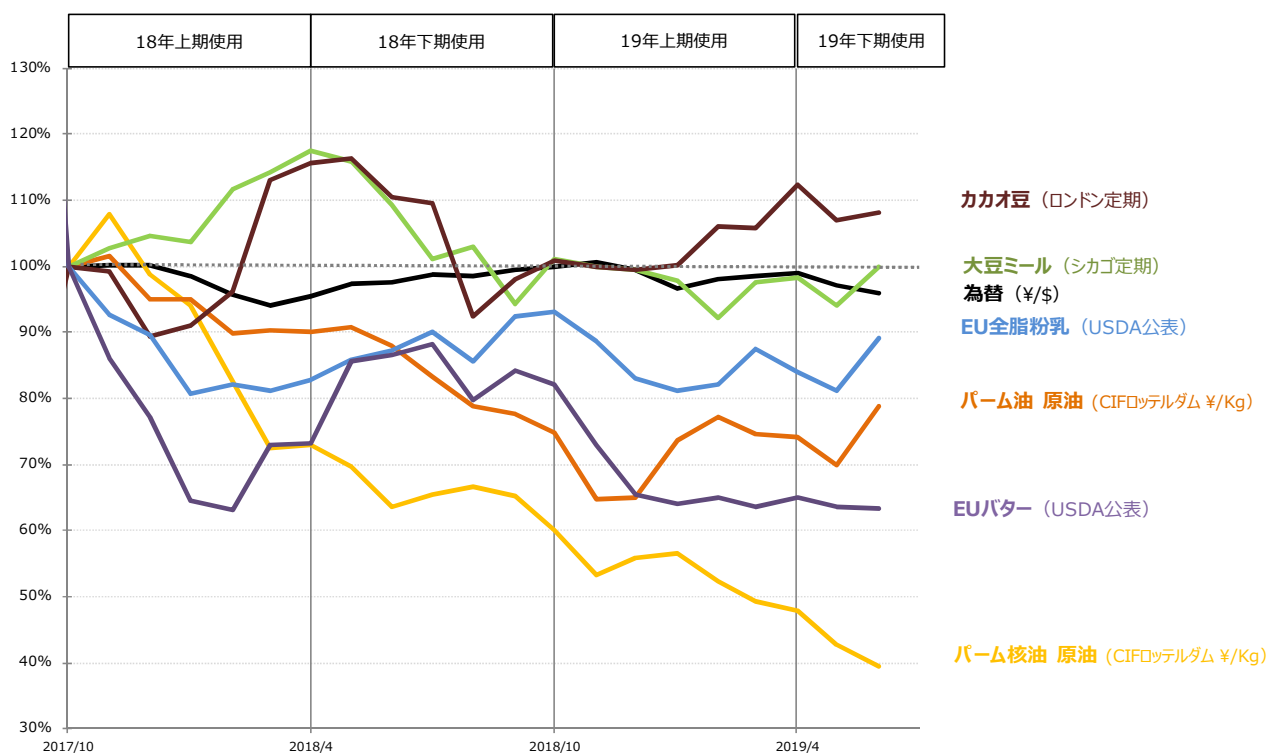
植物性 油脂：	日本は、採算性を重視した販売の継続により減少。米州は、堅調に推移するも前年比では減少。 東南アジアは、比較的堅調に推移したものの、前年比では減少。
業務用 チョコレート：	日本は、アイス向けチョコレート等が減少したことに加え、米州は、イースター時期ずれによる販売の分散等により減少。 東南アジアは、18年7月に買収したインダストリアルフードサービス（豪州）が寄与、また、欧州は販売が堅調に推移し増加。 Blommerは、北米の販売が堅調に推移し、増加。
乳化・発酵 素材：	日本では、デザート市場、カフェチェーン向けにクリームが増加。マーガリン・ショートニングは採算改善策により数量減。 東南アジアでは、タイ、インドなどでの販売が増加。 中国では、マーガリン・ショートニングは前年までの急拡大からの反動により減少。一方フィリングは堅調続き、2桁増。
大豆 加工素材：	大豆たん白素材は、健康分野向け販売が堅調に推移。 大豆たん白食品は、昨年の工場の修繕による落込みからの反動により増加。機能剤は、販売の期ずれにより減少。

◆ 10. 主要関連相場

- ・当グループ事業に影響のある主な原料の国際相場について、円換算した価格を指数化し一覧化したものであり、実際の使用原料相場とは相違があります。
- ・当グループの原料手当て期間に合わせ、使用時期と手当時期を半年ずらして表示しています。

主要関連原料相場推移（円換算後）

※2017/10/1の相場を100とする



主要為替レート

		2018年度	2018年度	2019年度	対前年同期		2019年度
		1Q	期末	1Q	差	増減率	予想
\$	P/L	108.30	110.43	110.20	+1.90	+1.8%	113.00
	B/S	106.24	111.00	110.99	+4.75	+4.5%	
BRL	P/L	33.40	30.38	29.23	▲4.17	▲12.5%	28.25
	B/S	31.97	28.65	28.49	▲3.48	▲10.9%	
€	P/L	133.22	130.42	125.15	▲8.07	▲6.1%	132.00
	B/S	130.52	127.00	124.56	▲5.96	▲4.6%	
元	P/L	17.05	16.72	16.33	▲0.72	▲4.2%	16.50
	B/S	16.92	16.16	16.47	▲0.45	▲2.7%	

・当グループでは、仕入れは為替予約を用いて実施しています。

◆ 11. 中期経営計画

基本戦略



基本方針

- ①コアコンピタンスの強化
- ②大豆事業の成長
- ③機能性高付加価値事業の展開
- ④コストダウンとグローバルスタンダードへの統一

	16年度実績	17年度実績	18年度実績	19年度予想		20年度目標
ROE	8.3%	8.8%	7.3%	9.4%	—	10.0%
売上高純利益率	4.1%	4.5%	3.8%	—	—	約5%
総資産回転率	107.5%	113.6%	78.5%	—	—	約115%
財務レバレッジ	1.8倍	1.7倍	2.5倍	—	—	約1.8倍
EPS	140.8円	159.9円	134.7円	176.8円	3年間のCAGR 7.9%	EPS CAGR 8%以上
EPS成長率	31.2%	13.5%	▲15.7%	31.2%		
営業利益	19,694	20,481	18,526	24,000	3年間のCAGR 6.8%	営業利益 CAGR 6%以上
営業利益成長率	16.9%	4.0%	▲9.5%	29.5%		
株主還元 (配当性向)	31.2%	30.0%	37.1%	30.5%	—	配当性向 30-40%
営業キャッシュフロー	165億円	282億円	226億円	320億円	3年間の累計 828億円	4か年累計 1,000億円
CCC	110日	103日	※ 105日	105日	—	CCC 10日間の短縮
売上債権	74日	76日	—	—	—	
棚卸資産	65日	57日	—	—	—	
仕入債務	29日	30日	—	—	—	
設備投資	136億円	147億円	159億円	220億円	3年間の累計 526億円	4か年累計 600-700億円
M&A	—	—	Blommer-IFS	—	—	500億円の資金確保

※18年度のCCCはBlommerを除く既存事業

◆ 12. トピックス

2019年5月	「気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD)」の提言に賛同及びTCFDコンソーシアムへの参画
2019年6月	公募ハイブリッド社債発行
2019年7月	「サステナビリティレポート2019」を公開 Fuji Brandenburg GmbH設立